

〈二重の虹〉

雲行きが怪しくなってきたので、涼しくなるのを待たずに野菜を採りに行く。畑に着いたとたんドンピシャのタイミングで土砂降りの雨！小屋の中でしばし雨宿り。トタン屋根に当たる大粒の雨音が小屋中に響く。時折、“ゴロゴロ、ドッカーン！”とカミナリが合いの手を入れる。せっかくなので1回こっきりの“雨粒とカミナリのジョイントコンサート”を楽しむ。小降りになり日もさしてきたので外に出てみると……。なんとなんと東の空に虹がかかっている！しかも二重の虹だ。畑で見たのは初めてかもしれない。内側と外側の虹の色は逆になる。自然界の粋な計らいだ。



夢中で写真を撮っていると外側の虹はいつの間にか消えてしまい一つだけ残った。雨上がりのつかの間の贈り物、なんだか得した気分だ。昨夜は、“ペルセウス座流星群”で流れ星をたくさん見た。街の明かりが少ない山の上では一つ一つの星たちが“私はここよ”とその存在をアピールしている。その星々の間をスーッと音もなく流れ一瞬の内に燃え尽きてしまう宇宙のチリ。虹にしても流れ星にしてもその儚さ故に人は魅せられるのかもしれない。コロナや熱中症で外出自粛は続くが、自然の営みはいつも身近に感じていたいと思う。